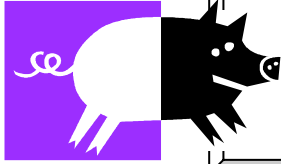
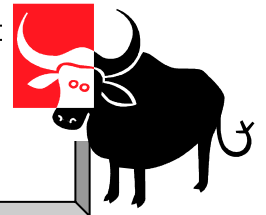


# 畜産とくつく情報

平成 21 年 2 月 23 日 (第 94 号)  
問い合わせ先  
長野県農政部園芸畜産課  
電話:026-235-7232、Fax:026-232-0764



中国・台湾で口蹄疫発生！  
侵入防止対策を！



発生場所		発生日	畜種・処分頭数	ウイルスタイプ
中国	甘肅省	2008/11/6	牛 238、羊 3、豚 56	Asia 1
	湖北省	2009/1/13	牛 289、周辺農場の牛 9,858	A
	新疆ウイグル自治区	2009/1/14	牛 34	Asia 1
	上海市	2009/2/3	牛 440	A
台湾	雲林県	2009/2/4	豚 68	O
	彰化県	2009/2/17	豚 609	O

## 台湾の詳細情報

- ワクチン使用から脱却するため、各農場でワクチンを打たない豚（おとり豚）を飼養していた。症状はおとり豚に見られた
- 前回の口蹄疫発生は 2001 年 2 月
- 2 月 18 日時点で新たな発生は確認されていない

中国の発生状況について、詳しいことは発表されていません

農林水産省は 2 月 19 日、侵入防止に万全を期すため、動物検疫所に対し、空海港での旅行者の靴底消毒の徹底、畜産物検査の適切な実施等を指示しました。

中国・台湾からの生きた偶蹄類やその肉の輸入は以前から禁止されています。

日本では 2001 年以降、発生はありませんが、近隣の国々では発生しています。以下の点に注意し、侵入を防止しましょう。

## 口蹄疫の主な症状

- ◇ 牛、豚、めん羊、山羊など偶蹄類が感染する
- ◇ 伝染性が非常に強いため、短期間に複数頭発生する
- ◇ 口の中や蹄の付け根、乳頭などに水ぶくれ（水疱）
- ◇ 発熱、元気消失、食欲不振、多量のよだれ、乳量低下、足をひきずる等
- ◇ 死亡率は低いが、歩行困難、採食困難等のため生産性は非常に低下する

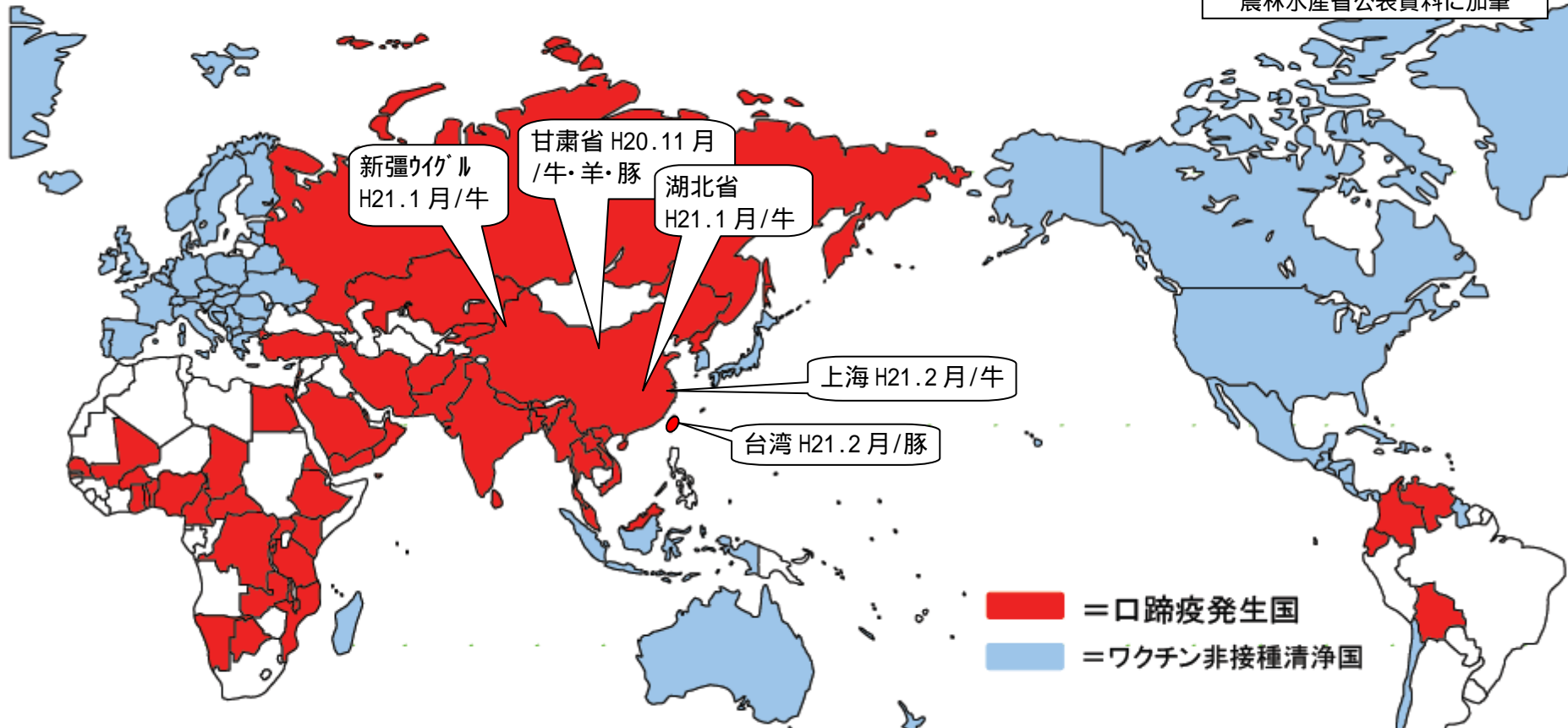
## 予防対策

1. 発生国の畜産農家訪問は自粛する
2. 発生国から帰国の際は、日本側の空海港で靴底を消毒する
3. 海外旅行者、海外の土産物、郵便物は要注意
4. 畜舎の出入り時には必ず履物を消毒
5. 外部の人は畜舎に入れない
6. 購入飼料は出所を確認する
7. 食品残さは加熱して給与
8. 家畜に異常があったらすぐに家畜保健衛生所へ連絡

# 口蹄疫の発生状況

2008年10月1日

農林水産省公表資料に加筆



## 発生国

アジア：台湾、中国、ベトナム、タイ、ミャンマー、マレーシア、インド、ロシア、イラン、トルコ、イスラエル等  
 アフリカ：エジプト、エチオピア、ケニア、タンザニア、カメルーン等  
 南アメリカ：ベネズエラ、ボリビア、コロンビア等

佐久家畜保健衛生所	0267-62-4123	飯田家畜保健衛生所	0265-53-0439	長野家畜保健衛生所	026-226-0923
同上田支所	0268-23-1630	(時間外)	0265-23-1111	県庁園芸畜産課	026-235-7232
伊那家畜保健衛生所	0265-72-2782	松本家畜保健衛生所	0263-47-3223	(時間外)	026-232-0111